

第3回 杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会会議録(要旨)

会議名	第3回杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会
日時	平成27年10月21日(水) 午後3時～午後5時
場所	杉並区役所 中棟5階 第3・4委員会室
出席者	懇談会委員22名、事務局及び関係職員8名
傍聴者	7名
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 第2回懇談会における主な意見について 3 杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本的な考え方(案)について 4 必要諸室の設定(案)について <ol style="list-style-type: none"> ① 杉並第一小学校 ② 区民施設 5 建物の規模と校庭の広さについて 6 事務局からの連絡事項 7 閉 会
資料	<p>資料1 第2回懇談会における主な意見について</p> <p>資料2 杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本的な考え方(案)について</p> <p>資料3-1 杉並第一小学校における必要諸室の設定(案)</p> <p>資料3-2 区民施設(阿佐谷地域区民センター・産業商工会館)における必要諸室の設定(案)</p> <p>資料4 建物の規模と校庭の広さについて</p>

進行役	<p>本日は、「第3回杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日も、2時間弱くらいを目安に、進行できればと思いますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、配布資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p>
進行役	<p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>次第2「第2回懇談会における主な意見について」ということで、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
学校整備課長	<p>前回の懇談会では、他自治体の学校施設と集会関連機能等の複合化の事例を紹介させていただき、そして、杉並第一小学校等複合施設整備にあたっての導入する機能・諸室(案)、学校と区民施設の相互利用のイメージなどをご説明させていただいた上で、複合施設整備にかかる基本的な考え方(案)について、区のほうからたたき台としてお示しさせていただき、様々な角度から委員の皆様からご意見をいただいたところです。</p>

	<p>前回の振り返りということで、「資料 1」として主な意見を整理いたしましたのでご覧いただければと思います。</p> <p>(資料中の主だった意見を紹介)</p>
進行役	<p>前回の意見について確認をいたしましたが、特によろしいでしょうか。</p> <p>それでは、特にご意見がないようですので、主な意見としてまとめられている「2その他」の最後にあるように、前回、埼玉県志木市志木小学校が参考になるのではとのご意見がございました。次第にはございませんが、事務局で調査いただいたようですので、ご報告をお願いできますでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>それでは、志木市立志木小学校複合施設について、ご報告させていただきます。</p> <p>現地に行きまして、施設を見せていただき、お話を伺いましたので、ご報告させていただきます。</p> <p>(スライド資料説明)</p>
進行役	<p>ただいま、志木小学校の複合施設についてのご説明がありましたが、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>音楽をやっている横で料理をとということだと、具体的にイメージが沸かなかったのですが、音楽をやる場所は区切られてはいないということですか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>第一音楽室というものがこちらにあって、当然扉はあります。音楽の授業をやっている時は、扉は閉まっていますが、そのそばに料理室があって地域の方がそこを使って活動しています。</p>
委員	<p>音楽で使っている部屋の隣では、今度は市民の方が料理をやっている部屋があるという形で行なわれているということですか。</p>
教育施設計画 推進担当係	<p>はい、そうです。</p>
委員	<p>生涯学習施設の時間的な制限というのはどうなっているのでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>夜間の22時までやっていますが、学校のほうの施設については、平日は17時から22時まで、休日は9時から22時まで利用できるということです。相互利用ということで、生涯学習施設のほうに集会機能がございますので、集会室が全部その日埋まった後に、学校施設を開放しているということが特徴的です。集会施設が空いているのに学校施設のほうを申し込んでもまだ使えませんというルール決めをしております。</p>
委員	<p>今、図書館などを杉並の子どもたちが安心して使えるとの話がありましたが、この志木小学校は、近隣地域はどういう特徴を持った地域なのでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>この複合施設と道を挟んで市民会館と市民文化ホールがあって、例えば、複合施設に自転車を利用して来られる方は文化ホールの敷地のほうに駐輪をするというように、ほぼこのエリアに市民施設が集約されている場所でした。あと、近隣は大きい道路はございましたが、ほぼ住宅地の中にあるような立地条件だったかなと思います。</p>

委員	施設もだと思いますが、その地域で昔から大事にしてきたこと、例えば、地域的な伝統とか、おじいちゃんやおばあちゃんから代々伝わってきた言い伝えとか、そういう特色あるものはないでしょうか。
教育施設計画推進担当係長	学校が教育活動中にお伺いした関係もあって、話のほうは生涯学習施設の職員を中心に聞いてきたこともあり、ちょっとその辺りまでお伺いできてなくて、ご報告できない状況です。
進行役	委員のほうから、補足いただけるようです。
委員	私が見学に行ったのは、平成 15 年の出来てすぐだったのですが、その時に周りのコミュニティの調査も全部しました。そこで、私はこの地域と似ているなと思いました。何が似ているかと申しますと、学校が志木市の中で最初に作られた非常に古い学校だということと、かなり昔から市街地になっている部分で、コミュニティが厚くて、地域の方々が学校を思う想いや、町会の活動の活発さ、そういったところがこの地域と似ており、元気でかつ歴史のある地域だと思いました。そこでこれだけオープン化したので、この後色々困ったことが起こるんじゃないかと想像していました。それで、10 年以上経ってどうなのかなということ、ここよりもっとオープンに出来るのか、それともここまでオープンには出来ないかと判断をされるのか、基準として非常にいいものになるのではないかと、思って、推薦した次第です。
委員	その施設があるところは、もとは何があったか分かりますか。
委員	もともと小学校です。今の図面で、生涯学習棟の北側が校庭です。現在の校庭の位置に校舎がありました。そして、今、校舎が建っているところが校庭でした。なので、敷地の中で建て替えをするために、南側に校舎を持ってきたスタイルです。左側の南校舎だけが古い校舎で、南校舎を耐震補強して、普通教室棟と生涯学習棟は新しく建てられました。それで、地域図書館と協働して、学校図書館と地域図書館を一緒に使い、特別教室を一緒に使っています。
委員	自分も志木のほうの学校に通っていたのでだいたい分かりますが、自分は駅の南側で、ここはたぶん駅の北側ですよ。駅から何分くらいですか。私の記憶では結構離れていると思います。
教育施設計画推進担当係長	実際に歩いてみましたが、駅から 1 キロ超あると思います。
委員	今の説明で、防犯のほうはかなり神経を使われているなということで、参考になることがあるかと思いますが、防災ですよ。いろんな機能が集まっていて、周辺にも公的な機関が集まっている。そこが防災の要ということで、防災について参考になったということはあるですか。防災というのも大事な点ですから、ちょっとお聞きしました。
教育施設計画推進担当係長	防災の視点ではあまりお話を伺っていません。ただ、地下の 2 階に体育館があり、北側に大きい校庭があり、生涯学習棟のほうも部屋がいくつかありますので、地域の震災救援所だったり、そういう機能を持ち合わせていることは間違いありません。防災倉庫なども施設内にございました。

	<p>杉並第一小学校については震災救援所の機能、区民施設のほうは一時帰宅困難者対策の受け入れ施設と今のところは考えていますが、重要なポイントですので、これから施設づくりに向けて、様々な検討が出来ればと思っています。</p>
進行役	<p>先ほどの説明の中で、利用者が顔見知りの方が多からということで、図書館もあまり仕切りもなく利用できるというお話もありましたが、学校は 430 名児童がいると、顔見知りといった時の範囲は、私たちが学校現場から見ているとやっぱり何十人という範囲です。ですから、その利用者みんなを顔見知りだからという観点で見られるかどうか、学校の立場から思うところですが、そのあたりはいかがですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>防犯上の課題として、当然対策は取られている中で、何か懸念はありますかと伺いました。10 年あまり経過し、今のところ何も起きていません。しっかり防犯対策を行なっている中ではありますが、やはりオープンなので、例えば悪意を持って侵入された場合のことなど考えると、常に不安として付きまとうことはあると、そういうお話を伺ってきました。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。</p> <p>それでは、「3 杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本的な考え方（案）について」ということで、区においても基本方針（案）のまとめを行っていくスケジュール感かと思えます。</p> <p>前回懇談会での意見を踏まえて、見直しの案が資料としてご用意されています。</p> <p>事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
学校整備課長 地域課長	<p>「資料 2」ですが、改築・複合化の基本方針づくりに向けて、前回いただきました意見も踏まえながら、見直し案を作成しました。</p> <p>前回のたたき台から、だいぶ変更をしておりますが、変更した部分を中心に説明させていただきます。</p> <p>（「資料 2」に基づき事務局から説明）</p>
進行役	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>今後策定する、基本構想・基本計画に書き込んでいく基本方針を想定しながら、全体構成も見直されたように思います。</p> <p>ただいまの説明、資料の内容について、ご意見、ご質問などを頂戴していきたいと思いますが、前回同様に議論が散漫にならないように順番にやっていきたいと思っています。</p> <p>まず、「資料 2」の表面の複合施設の整備コンセプト、整備の考え方について、ご発言をお願いいたします。</p>
委員	<p>私の意見では、賛成で、大変良いことが書いてあると思います。この通りです。だけれども、問題はこれに本当に魂を吹き込めるか。他に意見がある方もいらっしゃるかもしれませんが、ここに書いてあることはある意味では素晴らしいし、その通りだと私も思います。しかし、文章だけは立派なものが出来たが、出来てみたら普通だったというはよくあって、本当にこれを作るんだと</p>

	<p>いう気概で、具体的な一つ一つの事柄もこれを本当に活かした形で作っていかれるかどうかだと思います。だから、改めて、私のお願いというか希望は、私たちも含めてだと思いますが、これに本当に魂を吹き込むんだという、そこだけがポイントだと思います。</p>
学校整備担当 部長	<p>ごもつともでして、前回は委員の皆様から厳しいご意見をいただきました。それで、全面的にここを追加して書き直したところです。やはり、計画のコンセプトの一番最初のリード文ですので、どうしても役所の作る文章としては、形式ばった文章になっているのが事実です。ただ、最初の一步のところあまり具体的に踏み込みすぎても、今後検討をしていく中で幅が狭くなりますので、ぜひここは大局的な文章の表現をお許しいただきたいです。それから、今、委員がおっしゃったことは区側としても痛感しています。これから懇談会の皆様に考え方やプランを検討していただきますが、ハード面・ソフト面を含めて、どうしていくのかというのが議論の焦点だと思います。ご意見を真摯に承りたいと思います。</p>
委員	<p>「地域の」とか「多世代の」、「きずなを」という、一つのものの中にぼんぼんぼんとたくさん入っている感じがします。しかし、例えば、ここは小学校ですが、小学生には小学生に必要なものがあり、卒業していった中学生とか高校生とか、この世代にこれをとというような、もう少し各世代に対して、ここはこういうふうに使ってもらいたいということが必要だと思います。例えば、住宅事情の悪いお子さん、特に中学生なんかは、夜間の夕方から学習する場所がないですとか、個々の年代に応じて色々なニーズがあると思います。全体を一括りにすることもそうなんですけど、各層に対して、ご高齢の方までに細かなアイデアを入れながら出来たらいいなと思います。</p>
学校整備担当 部長	<p>その辺もこの次の議論で、各部屋の機能やどういう部屋を用意するか、運営をどうしていくかが議論になるだろうと思います。その時に多世代が利用できると言っていますが、実際にお年寄りにも優しいし、中学生や子どもたちにも優しい、商業者もどう使うのかというところをもっと議論しながら、そこを補強出来るようステップアップしていきたいと思います。ここの表現については、「子どもたちと地域の様々な人々がかかわりあいながら」とか抽象的な表現ですので、若干そこを修正するのか、もう一回持ち帰らせていただきたいと思います。</p>
進行役	<p>次に、資料の裏面にまいりまして、「杉並第一小学校の整備方針（案）」の考え方について、ご質問・ご意見等があればお願いいたします。</p>
委員	<p>他の方から受けたんですが、(2)の⑤で、児童館内学童クラブというのがここに入ってくるかと思いますが、今の児童館での乳幼児の居場所の代わりになるものが今後出来るということらしいですが、それがこれから出来る施設の中に入るのか分かりませんが、今まで近くの児童館に来ていた人たちの場所がどこに出来るのかということで、子育てネットワークに参加されている方々から質問を受けました。</p>

教育施設計画 推進担当係長	<p>(2)の⑤ですが、どういう形になるのかがこの文章では読みにくいというのは間違いな話ですが、区のほうでも児童館の再編という中で、様々な地域の状況を考えながら整理をしていきたいと思います。今回、杉並第一小学校の改築はありますが、隣接している阿佐谷児童館をどうしていくのか未だ結論が出ていないところもありまして、今はこのような書き方になっているということです。ですから、阿佐谷児童館の機能が今の段階で将来的にどうなっていくとお話が出来ない状況ですが、その辺の方向性も区の方で定めた段階で、きちっと計画に載せて進めていくような形になるという状況ですのでご理解ください。</p>
委員	<p>改築が始まる時に児童館はどういう状態かハッキリしないといけませんよね。</p>
学校整備担当 部長	<p>学童クラブや放課後等の居場所事業を杉並第一小学校の中で準備していくのか、もしくは敷地の外に児童館があり、そちらでやっていますので、そこどう使い分けをしていくかはこれから決めていかなければならないです。</p> <p>それともう一つは、児童館は再編の中で見直し、機能を分けていきますが、乳幼児の対応について児童館の再編の中で、杉並第一小学校の敷地の中でやるというのは基本的にはないと思っています。隣接する児童館を今後どう改築するのか、リニューアルして杉並第一小学校の改築とどうリンクしていくのかは、これから進めなくてはいけないことだと思います。</p>
進行役	<p>続きまして、「区民施設の整備方針(案)」の考え方について、ご質問・ご意見等があればお願いいたします。</p>
委員	<p>全面的に見直していただいて、非常に分かりやすく、皆様のご意見に沿ったような形で分けてありますが、(2)が整備方針という中でイメージが沸きません。例えば、①に「～溢れています」と事実が書いてあって、「人材が育まれていく施設づくり」と言われても、よく分かりません。文章はいっぱい書いてありますが、何を作るのか、学校の施設とどう複合させるのか、ようするに区民施設のエリアに何を作ろうとされているのか全く読めません。イメージがあったら教えてください。</p>
地域課長	<p>皆様から色々ご意見いただいて、その中でやはり文化だと、文化は抽象的ではありますが、阿佐谷の文化ということ意識したことが一つです。それと杉並第一小学校の児童が音楽活動を熱心にしていて、遠くまで練習会場を探しているという実情も聞きました。それから阿佐谷のジャズストリート、こちらはたった一日のことではなく、文化交流の担当とも少し話しているところですが、出来れば継続的に何か盛り上げていけるようにしたいです。例えば、プロの方に来て演奏してもらおう、そういったことを地域の方が楽しみ、また子どもたちも一緒に楽しんでもらおう。あとは映像みたいなものやっていたり、公演をしていただいたり、毎週は厳しいかもしれませんが定期的にやってもらい、ジャズということの一つの核にして色々展開していき、そこで人々が新たなつながりを持っていけるのではないかなと思います。</p>

	<p>これは一つの例ですが、そういったことが出来るような、音楽にある程度重点をおいた施設づくりが今回の区民施設づくりのほうの考えです。ここに書く漠然としてしまっていますが、施設としてはそういったことを実現していきたいという考えです。それと、「阿佐谷文化を担う人材が絶え間なく生まれていくよう」、これは杉並第一小学校の児童も含めて、地域の子どもから大人まで含めて、阿佐谷の文化を大切に育てていけるような、そういった考え方が持てるような人材をこの施設でいろんなことをやっていくことで、どんどん伝えていけるということが出来ないかなと考えています。</p>
委員	<p>言葉遊びですね。いくら書いてあっても、何を作られても何もなくても学校があれば人材は育ちますよねと逃げられるじゃないですか。この人材を育てますということで、何をされようとしているのか全く見えません。例えば、七夕まつりを学校や区民施設の中に、どういうものを取り込もうとしてイメージされているのかが全く読めません。七夕まつりは外でやっていますよね。それと、この区民施設がどうリンクするのか全く分かりません。</p>
委員	<p>七夕まつりを今まで実行してきた自分としては、今のご質問にちょうどこんなものがあるのかなとお答えします。七夕まつりは本来、仙台の七夕まつりが日本で一番古く、戦前の昭和初期から始まっています。阿佐谷の七夕まつりは昭和 27 年に中杉通りが出来て阿佐谷パールセンターが歩行者専用道路になって、そこで昭和 29 年に第 1 回目の七夕まつりが開催されました。当初は仙台の七夕まつりを模倣してやっておりましたが、アーケードが設置され、アーケードは万が一火災になった時に延焼するというので、紙の装飾物が一切だめになりました。東京は仙台と違い込み入っていますし、ビニール系の燃えにくい素材で作らなさいという指導がありました。そのために阿佐谷パールセンターでは、燃えにくい素材ということで、だんだんと形が変わって、今のはりぼてを作るようになりました。</p> <p>そのはりぼて作りに、だんだんと阿佐谷パールセンターの中もテナントとして企業の支店が多くなり、そういうところは中々作ってくれなくなりました。作ってくれないとやはり飾り物が減りますので、その時に近隣の小学校の皆さんに我々が作り方を教えに行きながら、一緒に作ってその飾り物を飾るという取り組みを 7～8 年位前から始めております。今、その作ってらっしゃる方が 50 組位になっています。ですから、近隣の人も七夕まつりを一緒に作って楽しむという時代になってきて、そんなことが一つの例かなと思います。</p>
委員	<p>という、杉並第一小学校でそれを作るということですか。</p>
委員	<p>はい。学校に教えに行って、学校で作るんです。それで、出来たものを阿佐谷パールセンターの七夕まつりに展示をする。そうすると、一緒になって七夕まつりに参加できるということです。</p>
委員	<p>分からないです。ここにはそういうふうには書いてないですね。</p>
委員	<p>僕はそういうふうには理解しました。</p>
委員	<p>例えば、七夕まつりやジャズストリートの準備会場ではないですが、そういうものをやる施設をここに作って、阿佐谷の文化を応援する施設作りをしてい</p>

	きますということなんですか。
地域課長	そのとおりです。支援していくということです。施設としてはそういう支援をしていく、けど、もっとソフト面で今までやっていないこと、これからやっていきたいことをここに書き込んだつもりです。
委員	でも、この文章から後に、どんな教室を作るとか、どんな施設を作るということに発展するわけですよ。ここから、全く抜きに生まれましたという話ではないですよ。結局、後で来る話は、全部原点はここにあるわけです。そういうことは、ここに何か方向性が出てないとまずいですよね。
委員	私も地域区民センターを使っていて、区民施設に大変関心があります。区民施設のコンセプトが3つあげられ、これを見るとそのとおりだと思います。ただ、具体性がないから、具体性は次に出てくるのか分かりませんが、仮に阿佐谷で20年やっているジャズの若手の登竜門となる賞を出すとか。地域区民センターをやっていて、テーマにもよりますが、あまり若い人は来ないです。そういうテーマしか選ばないのもいけないのかもしれませんが、若い人をいかに呼び込むかが大事なことです。そうすると、今ここで育てる中では一つはジャズということになる。これは、世界的な一つの分野ですよ。これをもっと発展させて、そういう賞を作るとか、第三者基金を作るとか、そういう具体的なことがないとよく分かりません。目玉がないというか、それが次回出てくるのか分かりませんが、楽しみにしたいと思っています。そういうふうに、具体的な形でないと、我々も検討しづらいです。これを見ればそのとおりですよということになってしまいます。
委員	<p>整備方針の左の学校側と右の区民施設側で違和感があります。左はそこを運営している教員がいて、企画している地域があって、より具体的にそれに応じた施設を作ってくれと。右側は推進とあるけど、各諸団体が自分たちで活動をして、その方たちが使いやすい施設となるわけですよ。それをこう書いてしまうと、ジャズの人たちの施設を作る、はりぼてを作る人たちの施設を作ると聞こえてしまうんですけど、そうではないですよ。そういう方たちが有効に使える施設作りをするというような形に書いていただかないと、左と右が非常に違和感があります。まるでこの施設を建てたから、ジャズストリートがもっと発展するとか、七夕まつりの人たちが使いやすいかも分からないけれど、常時そこにおいて区が推進していくと捉えかねられません。だから、すごく違和感があるんだと思います。</p> <p>左はより現実的に応じた運営に捉えられますけど、だから右は今の七夕まつりやジャズストリートについての委員のご発言が出てくると思います。でも、その方たちの自発的な運営をサポートできるような施設づくりだと書いていただかないと、あたかもここにそういう施設が出来たから何かすごく発展するようなものが出来るように捉えられるような文章かなと思うので、その方たちも有効に使える施設なんですよということを明確にしたほうがいいと思います。誰がこれを推進するんですかとなった時に、誰も推進なんてしません。皆さんが頑張ってくださいることになるわけですから、そういうところを明確に出</p>

	<p>したほうがいいのかなと思います。</p>
委員	<p>七夕まつりやジャズストリートはかなり年数も経ったので、形として書いていただいているのだと思います。その他にも、先だって9月6日には伊勢神宮から神明宮に鳥居が下賜された「お木曳き」という一大イベントがあり、町会等もご協力し、引き手が500人位、そして、3,000人位が沿道を埋め尽くして応援してくれたと言われます。そして、明日始まるお祭り、これは「むつみ」というそうで、阿佐谷地域で十数年の「むつみ」、そして「お木曳き」も交えて、七夕まつりやジャズストリートにも増して、昔から中杉通りを中心として、杉並第一小学校や神明宮を拠点とするお祭りというのは歴然とあるということです。</p> <p>もう一つは、私は育成会に関わらせていただいて、これも神明宮をお借りして観世流のお能を行っており、杉並第一小学校の多目的室をお借りして、お稽古場に使かわせていただきました。そして、先日、秋の発表会を神明宮の能楽殿でさせていただきました。そして、その事業が今、阿佐谷地域区民センターと育成会との協働事業に発展させてもらっているのかなと思います。ですから、もう少し細かく書いてくださるなら、七夕まつりやジャズストリートの他にもそのような具体的ことが、杉並第一小学校の改築された施設にも何らかの形で活かされると思います。ましてや、地域区民センターが複合化されるわけですから、もう少し細かく書いていただくと、今、委員がおっしゃっていただいた左と右で違和感があることに対応できると思います。結論的には先ほどの委員の意見のように、この文章だけだとどうかと私も思います。</p>
委員	<p>区民施設のほうだけではなくて、全体に関してのことですが、屋外空間に関する考え方がないなと思います。今回、複合施設で、大きくは小学校と区民施設が複合しますが、先ほども志木小学校で屋外施設を広場として使う場合もあると説明が出ていました。しかし、それだけではなくて、校庭や色々なことに使う広場、あるいは区民の人たちや住民の人たち、子どもたちが一緒に育てる花壇みたいな色々なことが考えられて、屋外施設や半屋外施設と一緒に共用で使うということはあるのではないかと思います。今、書いてあるのは屋内の施設の話ばかりですが、外構計画に関わるような魅力的なコンセプトのようなものを入れておく必要があるのかなというのが一つです。</p> <p>もう一つは、実はこういう整備方針はシンプルなほうが良くて、あまり書き過ぎると後で、設計の段階で、あれもこれも入れないととなって、新国立競技場のような話になる場合もあります。ここで色々意見をいただくのではなくて、プロセスだと思うのですが、色々なラフスケッチで敷地の中にこういうふうにするといういくつか案があった中で、地域の方々や委員の方々に色々言ってもらって、実はこの施設はこちらからアプローチした方がいいよというのは、それが出てきて始めて出てくると思います。そうすると、共用広場は七夕まつりやジャズストリートなどに使えるという話に現実味が帯びてくると思います。どこか基本設計までいくプロセスで皆さんが今のような意見を言えるようなところを作ったほうがいいのかなと思いました。なので、ここで色々</p>

	<p>言い出すと、基本設計がものすごく縛られてしまっって変な施設になり、それはそれで困るなという感じがしました。</p> <p>もう一つ、整備方針が1、2と分かれています、もちろん管理上しっかり分けるとそうなのですが、共用利用する空間に対してのコンセプトについては、必要最小限書いておかななくてはと思います。それをもし作ったとすると、左側の小学校の(3)や右側の区民施設の(1)④とかそのあたりのプラスアルファが複合化で共用利用する時に、こういうコンセプトが必要だとなると思います。例えば、震災で防災機能を発揮しなくてはいけない時には共同でやっていくでしょうから、そういうことも含めて、そういうコーナーがあってもいいのかなと感じました。</p>
委員	<p>こういう施設計画を立てる時の考え方は一枚目の大きいコンセプトだけをまずは共有するという段階が重要です。それで、「資料3」や「資料4」の具体的な中身が見えてくると、それではこれを取りまとめる考え方はなんだろうかともう一度フィードバックするプロセスがあります。その意味では、この段階で一度議論しておくというのは当然大事なので、今ここで整備方針ということで決め込まないで、今は整備方針のたたき台とか整備方針案というレベルにおいておいて、残りの「資料3」や「資料4」、あるいは次回以降に、今、委員がおっしゃったような話が出てきますので、その時にやはり考え方としては、複合化のことを中心に考えないといけないというような議論が出てくるはずで、なので、あまり焦らないで、施設の中身まで色々なご意見があってもいいと思います。どんどんそれは発展していくはずで。</p>
進行役	<p>今いただいたご意見は、基本方針をまとめていく上で貴重なご意見だというふうに感じます。本日時間もありますので、いただいたご意見を踏まえて、修正を加えた基本方針案を次回事務局のほうからお示しいただいて、内容を確認し、方針を固めるという進め方でいかがでしょうか。そこで、ご了承していただければと思います。</p>
委員	<p>今までご意見を聞かせていただいて、私は町会の人間ですので、町会はこういう話し合いの中でどういうことを一番主張できるのかなと思うと、区民施設の(1)に入っている交流で、交流を深めるということがメインとなるのかなと思います。そこで、今後お願いですが、いつもこういう設定ではなく、なんとか意見の出しやすいようなテーブルの置き方とか、そういうことも考えていただけたらいいかなと思います。</p>
学校整備課長	<p>学校の改築は他にもやっております、こういった出し方は難しいんですね。色々な立場の方々にお集まりいただいて、ご議論いただき、区役所や教育委員会のほうにもご注文いただいております。それぞれは非常に重く受け止めております。スケジュールを考えて、色々題材をお出ししていますが、他の改築を行っているところでは、ここのような複合のケースはないのですが、まずこういった入口から入って、基本方針が固まって、建物の設計をしていくのですが、その時に他のところでやっているのは、グループを作ってディスカッションしていただいて、こういう学校を作っていこう、こういう施設を</p>

	<p>作っていかうということを発表していただくようなこともやっております。まさしく、この計画は、そういうこともいずれ必要だろうと考えております。今のご意見は重く受け止めさせていただきます。</p>
<p>学校整備担当 部長</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。順不同でお答えします。</p> <p>当分の間、整備方針案として、まだ固めなくてもいいのではというご意見がありました。その通りだと思います。</p> <p>それから、各部屋や機能、配置計画を考えていく中で、このコンセプトの考え方自体が変わっていく可能性もございますので、それを平行してやっていきたいと思ひます。</p> <p>次に、機能の話で、外構、建物の外をどうしたらいいかという話もこれから検討していく中で、追加されるかなと思ひます。</p> <p>次に、学校側と区民施設側がありますが、共有部分がどこでどうつながって、どう考え方を整理していくのかプロセスも大事ですので、それも、今はどこどこがどうつながって共有してというのが分かりづらくなっていますから、表現の仕方も少し工夫していかなければならないと思ひています。</p> <p>次に、一番最初に厳しいご意見を頂いた区民施設の(2)の①ですが、これについては具体的なやり方が明示されていませんので、もう一回再考しなくてはならないと思ひます。</p> <p>私どもが区長部局と打合せしていく中で、座・高円寺が非常に参考になっています。座・高円寺は演劇を主体とした建物のコンセプトを基本として、それプラス、地域の文化を育てるといふ大きな目的があります。阿波踊りや演劇の団体、小道具を作ったり演劇を練習する空間を作ったり、それから演劇をプロデュースする監督も常駐してしまひて、どうすれば杉並区の演劇の文化が上がっていくのかをちゃんと考えながら、ハード面・ソフト面をやっています。</p> <p>そうしますと、阿佐谷も皆さんがおっしゃっている文化が多くありますので、どう新しい施設で文化を育てて継承していくのかを(2)の①で書きたかったのですが、それがうまく表現できていませんので、これは機能含めて、どう表すかこれから一緒に考えていただきたいと思ひます。</p>
<p>委員</p>	<p>産業振興の視点は、色々なことを出来る可能性のある施設という、それはすごくよく分かります。そういうものだということですが、実際にその産業振興はすごく難しく、私も座・高円寺はすごく成功したと思ひます。産業の観点からというよりも、あの地域の発展や活力のアップにすごく寄与しています。</p> <p>一方、毎日見ているわけではないですが、改めて難しいと思ひるのはJR中央線のガード下の阿佐ヶ谷アニメストリートです。あれも、あそこをアニメの拠点にしようというコンセプトで入っていただいたけれども、なかなかそれだけでそうなりますか。私が時々拝見する範囲でいうと、あと3年位すると誰もいなくなるのではないかと思ひます。入っている方はすごく苦勞されていると思ひます。だから、先ほどから出ているのは、やはり箱を作ってそこでどのようなソフトを展開するかということがとても大事です。それがないと、箱を作っても機能しないというところが出てきます。それは、必ずしもここだけの議論</p>

	ではないので、そこがすごく難しいかもしれないと思います。
進行役	<p>ここでいただいた意見を汲み取っていただきながら、次回事務局のほうからも修正案を出していただいて、これについてご協議いただきながら基本方針を固めたいと思います。</p> <p>続きまして、次第4の「必要諸室の設定（案）について」です。前回も、導入する機能・諸室について、事務局から（案）のご説明がありました。今日は、各諸室の面積が入った資料案が用意されております。</p> <p>事務局から資料のご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長 地域課長	（「資料3-1」と「資料3-2」を基に事務局から説明）
進行役	<p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>案の段階ではございますが、学校、区民施設とも少し具体的になってきたのではないかと思います。</p> <p>ただいまの説明に関して、ご質問・ご意見等がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>普通教室が14室となっておりますが、すごく中途半端で6学年で14室だとどこかのクラスは3クラスとなってしまいます。現在の状況からして、私は、基本は18室で作ってほしいと思います。たぶん立地とか現在の学校の評価からすると、新しい校舎になれば間違いなく児童が増えると思います。増えた時に少人数教室を転用すればいいとお考えかもしれませんが、そうすると少人数教室がなくなってしまうことで子どもへの利便性がなくなってしまうので、普通教室は18室、少人数教室はこの数で作ってほしいと思います。</p> <p>天沼小学校のPTA会長さんと話をしていましたら、現在の0歳児、6年後に天沼小学校に入学すると予想される子どもが現在で120人を超しているようで、4クラス作らなければいけません。子どもを天沼小学校に通わせたいために引っ越してくる人たちがどんどん増えてきているので、学校としては転用してキャパシティがいっぱいになってしまっているの、6年後にどうするのだろうと心配している状態です。なので、間違いなく杉並第一小学校もそういう状態になると思うので、やはり基本は18室欲しいと思います。</p> <p>それから、その他管理諸室等のところですけど、ぜひPTA室を作ってください。よろしくお願いします。</p>
学校整備課長	それは入っています。折り込み済みです。
委員	プールはこの面積に入っていないのですか。
教育施設計画 推進担当係長	そうですね、プールのほうは面積表示はしていませんが、25mプール6コースを予定しています。
委員	それは屋内ですか。
教育施設計画 推進担当係長	今、屋外にありますが、今後プランニングを考える中で、限られた敷地の中で屋上におけるのか、今のようにおけるのか、また敷地を有効に使うとなれば学校内に入れ込んだ方がいいのではないかと、今後検討をしていくという考

	えです。
委員	<p>もう一つは、音楽関係の施設が充実しているじゃないですか。それで、特に今回、音楽の先生がいい先生がいらして、それで杉並第一小学校のジュニアバンドが賞を取ったということで、喜ばしいことですが、一つの小学校がそれだけ充実して、ずっとその先生を置いておくということを杉並第一小学校がやっていいのですか。やってもらっていいのですが、そうするということは他の学校から妬まれたりあるのかなと思います。たまたま、いい先生が来て、いい成績を取ったから音楽教室が充実できるのですかとなりませんか。そうすると、もし誰か杉並第一小学校の児童が小学校の 50m水泳で新記録を出したらどうなるのですか。そういうのは、全然分からないで質問しているのですが、公立の小学校じゃないですか。どこまでそういうことができるのですか。それぞれカラーを出したほうがいいと私は思っているのですが、色々語弊もあるでしょうから、どこまでそういうことをやっていいのか教えていただきたいです。</p>
学校整備担当部長	<p>教室の数のご回答は後でさせていただきます。</p> <p>ジャズと音楽の関連ですが、先ほどの基本的な考え方で地域の文化や地域の活性化、大人や子どもがやっていることをどう長く継承するかという話と学校の部活や学校の授業をどうつなぎ合わせるかは、先ほど基本的な考え方でお示ししたとおりです。大切にしないといけないという中で、場所としてどうやっていくのか、先生だけではなくて地域がどうやって育てていくのかというのが考え方にあります。今のご意見はごもっともでして、学校の中にいい音楽の先生が来ると急に音楽が盛んになって、楽器もたくさん買ってくださいと要求します。しかし、3年経って音楽の先生がいなくなると楽器が埃で、音楽準備室が使われなくなるというケースは確かにあります。だけど、杉並第一小学校はそれをしない作りや人づくりをどうシステムティックにしていくのかというのがこれからの検討だと思っています。面積を増やしたり、地域区民センターとコラボをして音楽をどう育てるかという話は、だからここでやりたいんだという話をご提案しているので、ぜひ先生の問題だけではないということで取り組んでいくことだと思います。</p>
委員	<p>今回のジュニアバンドはすごいなと思います。私が在籍していた 55 年前の頃も音楽は大変盛んでした。あの頃はオーケストラで、いつも東日本大会にはいく位でした。その時代は、特に小学校は要するに先生で、いい先生が来てくれれば上手になります。さて、いい先生がずっと来てもらえるのかという話ですよね。確かに、おっしゃられるように教育委員会の公式見解的にはなかなかそういうことは言えない。やっぱり私は今回も見て、杉並第一小学校には音楽の伝統が脈々と流れているのだなと思ったし、おそらく校長は、この次もいい音楽の先生を要望し、教育委員会のほうも、杉並第一小学校は音楽を頑張ってもらって、体育で頑張りたいと思う小学校には体育のいい先生が何代も続けて行くというのは阿吽の呼吸でたぶんやられているかと思っています。50 年後も本当にいい音楽の先生が来るのかは分かりませんが、その頃には地域も含めてもっと盛んになっていけばと思います。</p>

<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>先に音楽室の話ですが、杉並第一小学校のジュニアバンドの話をしていただきましたが、音楽室を充実することによって、通常の授業でも様々な授業の形態も考えられるでしょうし、学校開放部分も考えて、ジャズというキーワードもありますので、音楽室をそういう練習の場所にも使えることも想定して、標準より少し拡充した形で特色を出せないかということで考えたものです。</p> <p>また、先ほど話のあった教室数ですが、1回目の懇談会で、開校時の推計値もお出しした上で、杉並区の場合は30人程度学級を展開していて、学校希望制度はなくなりましたが指定校変更制度は引き続きある中で非常に読みづらい部分もありますが、12学級想定ではちょっと心配だということで、14学級想定で考えさせていただきました。確かにおっしゃるように少人数教室として用意したところを、普通教室に転用可能だから少人数教室を潰して転用すればいいという考え方では決してないです。ただ、天沼小学校の事例の話もありましたが、新しく作った場合に学校の教育環境がいいということで、その学区域のほうに引っ越してこられて、児童が増えるという傾向もあり、その辺も加味しながらの設定数ということで考えていますが、そういうご意見もごございますので、預からせていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>音楽の話では、先ほどの阿佐ヶ谷アニメストリートの中には、声優さんの卵がやっているお店があり、前回の懇談会で出た上井草のガンダムモニュメントがあり、杉並アニメーションミュージアムがありますが、今のアニメソング文化はオリコンなどのベストテンにアニメソングが入る位みんなが好きで、アニメソングの売れ行きはすごいと思います。そういったものも、今、声優さんの卵が育っているところで、若者が来てくれたり、展示スペースでソフト面の話になってきますが、うまく取り込めたら、もっと人が来ると思います。声優さんがグループでやっていたこともありましたが、そういうものも大きな文化の一つとして入れてあげると、自分と自分の子どももすごく好きでイベントによく行って、本当に入れにくいくらい大変な賑わいで経済効果がすごいのではと思います。ジャズもやっていますが、子どもたちも好きで、我々世代の親はジャズよりアニメソングで、カラオケでも歌っていると思いますが、そういった人たちを育てることを考えられないでしょうか。ジュニアバンドでアニメソングの演奏をした時の子どもの盛り上がりはすごいです。ライブ会場かと思われる総立ちで、保育園の子たちを呼んだ時の体育館が揺れるほど園児たちが踊っている姿を見ると、そういうイベントができて音楽を活かせるものと考えられないでしょうか。</p>
<p>学校整備担当 部長</p>	<p>前日も言いましたが、杉並区はアニメ産業の育成に力を入れています。アニメを描くプロを育てる支援をしたり、杉並アニメーションミュージアムを設置しています。杉並会館に杉並アニメーションミュージアムが入っていますから、分散するのが区にとっていいのか慎重に考えたいと思っています。今、おっしゃったとおり、アニメソングが今人気があるのは役所も分かっている、カラオケに行っても中学生の女子が歌っているし、ステージでも声優さんが活躍しているのも分かっています。ただ、それを阿佐谷地域の学校でどうするかは</p>

	<p>慎重に考えたいと思いますが、言っている意味は十分に分かります。区の中でアニメ産業をどうするかという視点は別枠で考えなくてはいけないと思います。</p>
委員	<p>今のお話を聞いて、阿佐ヶ谷アニメストリートもコアの方にはいいのかもしれませんが、区がきちんとした形で施設を作るのであれば、やはり絶対数というものを考えなくてはならないと思います。作ったけど人が来ないから一つにしようというのでは、税金を使うことでは考え方が甘いのではと思います。いい機会ですから、そういう振興も必要かと思いますが、それを区の施設を利用した場合にはもう少し慎重にして、推進するなら推進する形で結構ですが、あっちこっちに分散するような形よりも、今、学校整備担当部長がおっしゃったようにしていただいたほうがいいかと思います。より有効に杉並区の施設を使ってもらったと考えた時に、すべからくそれぞれの要望を100%満足させることはなかなか難しいことです。色々な人たちが利用しやすいということが最優先の考え方ですが、それをあまりにも個々の希望に沿ってやると、杉並区が100倍位広くなくてはならなくなってしまうので、あくまでも着手する時に、基本的な考え方の中にコンセプトをきっちりと持ってやっていただきたいと思っています。</p>
産業振興センター次長	<p>今の最初のご質問は、こういう活用方法も出来るんじゃないかというご提案だと思います。まさしく今回の複合施設は例えば、地域区民センターのほうに音楽室機能を充実したりしますので、整備方針にありますとおりで多目的に出来るというので、一つの例としては、アニメソングをやりたい人はアニメソングも出来るし、民謡をやりたい人は民謡も出来るし、色々な用途で出来る施設がこの複合施設だにご認識いただければと思います。</p>
委員	<p>私の質問の答えにはなっていないと思います。</p>
産業振興センター次長	<p>一つ目のご質問に対するお答えはそういうことです。この施設は、色々な可能性を持った、皆さんのアイデアがまさしく活かされる施設です。作っていくのは皆さんだと思います。これだけしか出来ないということではなくて、様々な多用途に使えるというのがコンセプトの一つということです。</p> <p>アニメ産業ですが、この施設とはまた別のものだと思っています。アニメ産業の支援については、個々のスタジオがありますのでなかなか難しいです。今は、産業振興センターとしてはアニメコンテンツとして、広く浸透するような形で取り組みを進めています。間接的な支援で、例えば、多目的な利用の一つとして、ここでアニメスタジオの人が発表会をする時があるかもしれませんが、アニメストリートをここでやるということは、アニメストリートはそもそも民間施設ですので、ないかと思っています。</p>
委員	<p>10月21日号の区報の区長のあいさつで日本が歴史上例をみない人口減少で、杉並区の現状として、子どもが増えているわけではないが、地方からの転入によって、区の人口が55万人を維持しているというような内容でした。そういう意味でいうと、複合施設ということではありますが、やはり杉並第一小学校というのは、世界に注目されている教育産業の輸出ということも囁かれて</p>

	<p>いることも考えれば、この杉並第一小学校が注目の教育の根幹をなす学校ではないかということで、他地区から阿佐谷近辺に転入される方もいるかもしれないということも踏まえていただいて、校舎の中の教室等に多少でも余裕をもって設定していただければいかかなと思いました。</p>
進行役	<p>具体的なお意見が出てきましたので、そこは汲み取っていただきながら次回ご提案いただきたいと思います。</p>
委員	<p>先ほど見せていただいた複合化による相互利用のイメージの学校ゾーンと区民施設ゾーンで、またがっていたのは音楽のところだけでした。それは大変いいことですが、もう一つ賑わい創出もまたがっていてもいいと思います。それで、具体的なスペースを面積の中で、あるいはこの後の建物の案の中でそういうものがどう生み出せるかというのは次回までの検討事項で検討していただきたいです。</p>
進行役	<p>それでは、次第5「建物の規模と校庭の広さについて」にまいります。 先ほどの学校・区民施設の諸室の設定（案）に基づいて、「資料4」として、3案、このようなプランが考えられるということで、資料が用意されています。 事務局から資料のご説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>（「資料4」を基に事務局から説明）</p>
進行役	<p>ご説明ありがとうございました。 敷地条件や建築関連法規等を踏まえ、想定する施設面積を収めた場合の規模感、それに伴う校庭面積ということで、ご説明をいただきました。 ただいまのご説明に関して、ご質問・ご意見等がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>これからの話の参考資料として今日の資料を出していただいたと考えてよろしいですね。それで、いくつか提案をしたいのですが、「資料4」で敷地の形状がなぜプールの場所がいつまでも出っ張っているのか。また、北西の部分のいくつかの家屋をこれからどうするのか。その辺の区の覚悟をうかがいたいです。 それから、既存の用途地域であればこういうものだと思いますが、区として東京都と折衝して用途地域の変更をするのかしないのか。これは区の覚悟次第だと思います。 それから、私は杉並第一小学校の学校運営協議会の会長ですが、学校運営協議会はその時の校長先生が運営の責任者で、校長先生が考えている教育を支援するというのが学校運営協議会の役割です。校長先生も変わっていきますが、公教育といえども中長期的な学校の方針や基本的なあり方を作っていくべきだと思っています。 例えば、私は病院を経営していますが、都立西高校は都立高校の中でも最も卒業生が医学部に進学する人数が多い学校で、そうすると自分の子どもを医師にしたい親は杉並区に移り住んで来ます。ですから先ほど他の委員が言われた</p>

	<p>ように、杉並第一小学校は阿佐ヶ谷駅の目の前にあり、これからこの小学校の教育の魅力をどう打ち出していかを考えていかななくてはいけなくて、既存の制度の中で考えるのではなく、住民が集まって来る魅力を作ることが大事であって、既存の考え方の中で改築をしたのでは、おそらく30年後、40年後、50年後にみんな後悔するだろうと思います。</p> <p>ですから、そういう意味では学校でも学校運営協議会が校長先生を支えるという意味で、今日いただいた杉並第一小学校の教育の中でのあり方を学校運営協議会としても、もう一度考えてみることをやっていきたいと思います。</p> <p>それから、先ほども話が出たプールですが、阿佐谷けやき公園プールは1年間のうち3カ月ほどしか使われていません。それと同じように学校のプールも3カ月しか使われていないので、そのためにプールを別に作るというのは全く意味がないので、やはり区民が年間を通じて使えるプールを作るべきだと思います。</p> <p>それから、阿佐谷のまちづくり団体にもお願いしていますが、阿佐谷のまちのランドデザインがない。ランドデザインがあって初めてこういった議論が本当は進んでいくと思います。</p> <p>なので、区の覚悟と、今後の杉並第一小学校のあり方を学校運営協議会として考えていくということ、ランドデザインを地域の方たちが並行して作っていただくということをぜひお願いしたいです。</p>
委員	<p>今の件について私の方からお話したいと思います。現在、杉並第一小学校の改築・複合化ということで話が進んでおりますが、阿佐谷の南側にある阿佐谷地域区民センターと産業商工会館が廃止されるという話の中で、本当になくなっていいのかということをもう一回、懇談会委員の方々に考えてもらいたいです。</p> <p>それから、杉並第一小学校とは関係ありませんが、他の施設、特に杉並区役所の東棟はかなり耐用年数が来ているという話を聞いていますし、東京都の財産でしょうが杉並警察の話も前回出ました。それからもう少し西にある都税事務所もかなり古い。そういう施設を総合的に考えながら杉並第一小学校がどうあるべきかを本来考えるべきで、むしろ杉並区から総合的にどうまちづくりを考えているかを一度聞いてみたいです。</p> <p>今、自分たちは阿佐谷のまちづくりを第2期目として、これから1カ月に1回くらい開いていくということでスタートしています。その中で杉並第一小学校も大事ですが、もう少し広い範囲で阿佐谷はどうあるべきかを今勉強しています。そういう中で、いろんな施設があるわけですから、我々住んでいる人、そこで営業している人がどうやって利用したらこの地域が良くなってかつ文化を継承していけるか。文人がいっぱい育ったまちですから、杉並賞みたいな文人の登竜門で新人の物書きにエネルギーを与えてあげるようなものを創設して、新しくできるホールでそういう賞をあげるというシーンを作ってもらったらいいいのかなと思います。文化に対する区の姿勢は必要だと思います。</p>

委員	<p>何年か後に英語が教科化されると伺っていますが、英語の占める割合も必然的に上がると思います。普通教室でこれまで通りやっていくというよりは、区内でも英語に関して特化ということをやっているところでは英語の教室というものが確立されていますし、その辺は、前回の時に英語はどのようにということで懇談会終了後に質問をしましたが、コンピューター室やラーニングセンター、あとは杉並区の英語の教育の方針では歌って踊ってとかなり音を大きく上げてやるので、そういう意味では音楽室との兼ね合いみたいなものの方が使い勝手がいいかもしれないので、その部分は次回までに今後の文部科学省の位置付けなどにもよるかと思いますがお話いただければと思います。</p>
委員	<p>色々ご提案を承っておりますが、新しい学校のあり方のモデル化をやるうとしているならば、こういうたたき台を作る以前に区のほうから第三者機関やそういうところに色々ご相談をして提案を受けるということをされたのですか。それとも、そういうことをせずにあくまでも区の中でやったのか、それはどちらでもいいですが、僕は色々なところからアイデアをもらうべきだと、そうすれば、色々な具体的な案が出てくると思います。それをされたのかどうかお聞きしたいです。</p>
委員	<p>まだ案なので具体的なものではないと思いますが、A案とB案だと仮設校舎を現状の校庭の中に作るということだと思いますが、C案だと完全に敷地を全部を使うということで仮設校舎はどこかに場所を移すことを考えて案があるのでしょうか。屋上校庭の資料を見て、なかなかこれも面白いなと思いましたが、そこはどうかかなと思いました。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>まず、第三者からの提案についてですが、今年、懇談会をスタートするにあたって、本日も来ておりますが、佐藤総合計画という設計事務所の方に支援に入っております。杉並区の天沼小学校なども担当されたところで、他区のほうでも様々に取り組んでいるというところでは、事例だとか情報収集もいただきながら、この間、資料づくりなどもやってきています。私どももなかなか知らない事例もございますので、そのあたりもお伺いしながら検討を進めているところです。</p> <p>仮設校舎については、通常ですと、校庭のエリアに仮設校舎を建てて、既存校舎を解体してというのが通常のパターンですが、どういうプランにしても、工事エリアも設けなくてはならず、また施設の作り方としてはある程度地下を活用していかなくてはならないと考えておりますので、現在、教育委員会で検討している中では、現在の校庭に仮設校舎を建てて仮設運営をするというのは非常に困難であると考えております。現在、仮設校舎を建てる場所について学区内で何とか活用できる場所を検討した上で、運動場も代替ということが必要になってきますので、そういうところを今、検討しています。仮設工事期間中の教育環境がどうなるのというのは、保護者含めて、地域の方も気にされる場所だと思いますので、出来るだけ早く方向性を出して懇談会でご報告差し上げたいと考えています。</p>

委員	<p>ちょっと今のことにに関して教えていただきたいのですが、以前、他の委員からも「こんな建築費が高い時になぜやらないといけないのか」という話があって、この杉並第一小学校の建て替えというのは 1～3年程度遅れても構わないのかどうか。僕は構わないと思います。ただ、区の予定がいろいろありますから、区の老朽化した施設というのが延床面積で60万㎡位あったと思うので、それを順次やっていくということは、計画はもちろん必要です。ただ杉並第一小学校はすでに耐震補強は平成23年度にとりあえず終わっている。それからお手洗いの改築も終わっているの、まだ、1～3年位までは遅れても構わないと私は思います。それと同時にやはり建築費が今、一番高いです。病院もこんなに高いと建て直しができません。ですからそれを考えると、もう少し先ほどの産業商工会館の跡地の利用も含めて、グランドデザインがあって初めて杉並第一小学校の教育をこれから地域の中でどういうふうに位置づけるのか考えられると思います。それから、区の覚悟として用途地域の変更もやってみて、もう少し大きな容積が建てられるのかどうか。やはりこれはもう少し時間をかけた方が私はいいと思います。</p>
進行役	<p>それでは、予定の時間になりましたので、次回に本日の意見も踏まえた修正案をお示しいただければと思います。</p> <p>それでは、次第の最後となりますが、事務局からの連絡事項についてお願いします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>本日もたくさんのご意見をいただきましてありがとうございます。</p> <p>次回の懇談会の日程についてとなります。</p> <p>これまで、候補日、時間帯を申し上げて日程調整させていただいていましたが、恐れ入りますが、今から申し上げます日時に開催させていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。11月26日午後3時からで、恐れ入りますが、ご予約をお願いいたします。</p> <p>また、前回同様に、本日の懇談会会議録につきましては、間に合えば次回開催通知と合わせて送付させていただきますので、内容のご確認をお願いできればと思います。</p>
進行役	<p>最後に学識経験者の委員からよろしくお願いします。</p>
委員	<p>「資料3」と「資料4」ですが、今後詰めていく中でより柔軟な捉え方ができるかなと思いますが、特に「資料3」は区民施設は要求通り作っているという感じがするので、複合化する観点の中でどう面積が調整できるかということがあろうかと思えます。</p> <p>それから、技術的な話ですが「資料4」で先ほどの大きなグランドデザインの話もありますが、現状で建てられるのはこういうことかということではよく分かりました。ただ、周辺のまちづくりで検討している話がおそらく都市計画であると思います。地区計画をかけるのかということになると、先ほど前提条件で日影の問題がありましたが、おそらく周辺で街並み誘導型地区計画を考えておられると思います。それをもし取り込むとすれば日影規制の問題はなくなりますので、それを都市計画の部局と調整を取り合って、先ほどのタイミン</p>

	<p>グの問題もありますので、どういうタイミングで建設をするのかという時に都市計画の制度をどう使えるのかということは吟味した方がいいと思います。</p> <p>それから、確かに委員がおっしゃるようにグランドデザインを詰めることも地域としての話は話で十分やっていただきたいと思います。それとは別に我々はこの仕事を受けるのですが、小学校なら小学校の立場から阿佐谷周辺をどう考えるのかということも出してもらわないと地域の方も困ってしまいます。地域がこういうことだから小学校はこうあって欲しいということ、小学校も受け取りづらいので、小学校の方から地域はこうありたいということも出していき、お互い意見交換すればよいかなと思います。</p>
委員	<p>解釈と内容についていろんな意見が出されて、これから佳境という状況かと思えます。</p> <p>「資料3」と「資料4」のところは、周辺地域との関係というところも大きくなりますので、ますます事務局の方は大変かと思えます。本当にいい小学校の複合化事例ができるかと思えます。次回、いろいろな議論ができるかと思えます。</p>
進行役	<p>それでは、これで第3回懇談会を終了いたします。皆様、本日はありがとうございました。</p>